

第13回

総 会

(配布用資料)

期 日：2024年9月11日（水）
開催形式：WEB会議（ZOOM）にて開催
会 場：真宗大谷派宗務所

公益社団法人 大谷保育協会

2023年度事業報告

自 2023年7月1日 至 2024年6月30日

【真宗保育理念】 「本願に生き、ともに育ちあう保育」

【総合テーマ】 「ともに生き ともに育ちあう保育を实践しよう」

【基本認識】

<乳幼児教育・保育の「質の向上」>

都市部の「待機児童」問題が、量的な向上を図る対策によって沈静化してきた途端に、「少子化」問題が惹起してきた。国が「こども家庭庁創設」や「次元の異なる少子化対策」を打ち出すなど、子ども・子育て環境は大きな変化が続きそうな様相である。

ただ、「少子化」の問題は、「出生数」などの数値的向上のみに特化できるものではなく、同時に、子どもたちの育ちをどう大切に受けとめていけるか、という社会全体の課題を深める好機でもある。

乳幼児教育・保育の現場にかかわる協会としても、数年来の課題である「質の向上」が、「少子化」を背景に、有効な形で「真宗保育」の实践に結実するよう取り組みをすすめた。

<研修テーマ「つたえる」実践年度の延長>

通常、研修テーマの实践期間が2年間であることから、今期は異例となるが、一昨年度の「第19回全国真宗保育研修大会」（期日：2021年7月3日（土）/会場：難波別院 御堂会館）において確認された研修テーマ「つたえる」の实践年度3年目として諸事業に取り組んだ。

各加盟園の日々の保育現場において、研修テーマ「つたえる」を共有していく。

<『「真宗保育」保育者養成テキスト』（仮称）の具体化>

また、研修テーマ同様に一昨年度から継続してきた三部門協議（真宗保育研究所、保育心理士会、研修部）から具体化された、『「真宗保育」保育者養成テキスト』（仮称）作成を継続する。「真宗保育」の言語化として、養成校での使用を念頭に置きつつ、現場の保育者にもわかりやすい形で「つたえる」ためのテキスト作りを試行した。

<公益社団法人として公益性の確認>

当協会は、全国429施設、宗派内外の約4万人の在園児とその保護者・関係者による保育現場によって保たれてきた。それは、真宗大谷派の青少年教化事業のように、関係者に限定したものではなく、あらゆる人々を対象として取り組まれてきた流れを受け継いでいる。

新型コロナウイルス後の社会像が活発に論議されるなか、あらためて「真宗保育」を掲げる協会の公益性を展望していく。

【重点施策】**(1) 『真宗保育カリキュラム』を基軸にした事業の展開****① 『真宗保育カリキュラム』の普及・活用**

研修事業や保育実践における『真宗保育カリキュラム』の活用が増えたことで、その状況をフォローする体制が必要になっている。各部門と連携をとりながら、さらに『真宗保育カリキュラム』の普及を図り諸課題に取り組んだ。

② 普及・活用のための人材養成、実践体験の還元

さまざまな乳幼児教育・保育関係者との対話によって、「真宗保育」が広く公開されていくよう、「真宗保育について語れる人」の誕生を課題としている。

また、真宗保育カリキュラムの実践を、各種研修・広報などを通じ現場に還元する場を持つことで、乳幼児教育・保育経験の情報共有を図った。

③ 保育者養成のためのテキスト構想・作成

「真宗保育研究会」再開にあたって、保育者養成のためのテキスト作成を活動の基軸とする。養成校の協力をいただき、3年程度の取り組みとする。

テキスト作成の中心的役割は研究所が担い、今年度はテキストの理念や構成を養成校に提示する。

保育現場を主な対象としてきた『真宗保育カリキュラム』との差異化を図り、例えば真宗保育と「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」との関連に触れたり、「人間」をキーワードに、保育と仏教、真宗との関連を述べたりすることなどを想定する。仏教に初めて触れる学生も対象となる内容を目指す。

中断されていた「真宗保育研究会」が2022年度には再開された。研究会においては、養成校側と大谷保育協会が協働してテキストを作成する意義について確認され、内容について協議された。2023年度は、真宗保育研究会での成果も踏まえつつ、研究所で具体的な協議を進めた。

(2) 「つたえる」をテーマとした研修計画の実践

現在の研修テーマ「つたえる」を諸研修に通底するテーマとし、さらに、各連区・支部においても同テーマでの研修開催を奨励していく。

一方で、新型コロナウイルス後の協会独自の研修の在り方を展望しながらも、国が保育者の処遇改善策として推進するキャリアアップ認定研修の増加により、真宗保育の研修機会を後回しにせざるを得ない状況が深刻である。

その現場の状況に対して、オンライン研修、対面型研修を有効に活用しながら協会独自の「真宗保育」の研修計画（仮称）を具体化に向けて検討した。

① 「慶讃法要関連事業推進のためのプロジェクト」の趣旨の継続

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要にあたり、協会諸事業にかかわる人材発掘の機会となったプロジェクトを、今後の重点施策に取り組むプロジェクトとして検討を進めた。

② 宗派の青少幼年教化事業との連携

公益性をもって取り組まれてきた協会の実践や知見をもって、宗派の青少幼年教化事業との連携をすすめた。

③ 宗派の定期刊行物等での課題発信

青少幼年層や子育て世代が、現代社会において抱える課題は、ますます多様化し深刻なものも多い。宗派の定期刊行物などの機会を活用し公益社団法人として存在する協会としてより一層の課題発信に努めた。

(3) 保育心理士の育成並びに活動支援の充実

① 保育心理士の育成

「心によりそう保育者」を目指して2000年度より始まった保育心理士資格認定事業は、現在全国に4,096名の保育心理士を誕生させている。「保育心理士」は特許庁によって名称使用の専有が許可され認知度も向上しており、開かれた資格として社会貢献の一端を担っている。資格には5年以上の現場経験を有する一種と養成校において学び、現場への橋渡しとなる二種がある。

新型コロナウイルスの状況により講座開催への支障も予想されるが、加盟園を重点にオンライン開催等の方策を推進し、保育心理士育成に滞りのないようすすめた。

② 保育心理士養成校の拡充

真宗大谷派学校連合会の幹事校である大谷大学をはじめ、学事施設との連携を密にし、さらに保育心理分野について、情報共有や学術的な取り組みが深まるよう養成校との関係構築、土壌整備に取り組んだ。

【(一種)同朋大学大学院、(二種)九州大谷短期大学、京都光華女子大学、同朋大学、飯田女子短期大学、東亜大学、九州産業大学、大谷大学、仁愛女子短期大学】

③ 保育心理士資格取得講座のキャリアアップ研修認定

国における保育士等のキャリアアップ体系構築の動きに際して、当資格の人員育成を推進するために、同講座を開催している都道府県での認定手続きを進めた。

【認定都道府県】

北海道、岐阜県、愛知県、京都府、兵庫県、福岡県、熊本県、鹿児島県、宮崎県

I-1 調査研究事業

真宗保育は子どもたちだけではなく、保育者も成長させるものでなければならない。そのような保育となるために、真宗保育についての基礎的研究を行う。理念、実践方法などについての研究を引き続き行う。

また、この研究結果を頒布事業、研修、資格認定事業などに反映し、真宗保育の公共性・公開性をはかる。

(1) 基礎研究

- ① 諸研究機関並びに学識経験者とともに真宗保育における課題、保育原理、カリキュラムについて学術的アプローチをおこない、乳幼児教育・保育、子育てにかかわる人々への普及を促進することを目的に「真宗保育研究所会議」を引き続き開催する。
- ② 真宗大谷派学校連合会の幹事校（大谷大学・光華女子大学・同朋大学／保育者養成校）の教員を交えて、『真宗保育カリキュラム Vol.1.1～3』の学術的表現への展開を図る。具体的には、『「真宗保育」保育者養成テキスト』（仮称）の作成を進めていく。
- ③ 『真宗保育カリキュラム』の一層の普及・深化への具体的方法を真宗保育研究所と協会各部門とが連携しながら考えていく。例えば、カリキュラムの携帯版（PDF化）についての検討、教材作成への提言・意見交換（研修部・出版部）、各園における『真宗保育カリキュラム』の使用法・具体的反応の収集と紹介（広報部）、各研修会への講師派遣（研修部）などの連携推進を図る。

(2) 臨床研究

- ① 臨床心理士会や学校心理学会などが学校現場で活躍し、かつ保育の現場に対応すべき人材の養成などを検討していることに鑑み、保育心理士の学問的根拠を明確にし、保育心理学会の設立を視野に入れた調査研究を実施する。その土壌養成のため「保育心理研究会」を開催した。

・第16回保育心理研究会

期 日：2024年1月28日（日）

開催形式：オンライン受講（Zoom ウェビナー）

会場受講（真宗大谷派 宗務所）

講 師：柴田 愛子氏（りんごの木 代表）

講 題：「心に添う保育」—子どもが主体的に育っていけるように—

シンポジウム：「柴田先生を囲んでの集い」

・柴田 愛子氏（りんごの木 代表）

・脇淵徹映氏（(公社)大谷保育協会顧問・保育心理会幹事）

- ② 保育相談及び育成指導

研究事業、研修事業、認定事業で蓄積された技術や知識をもって、各保育施設における保護者への子育て相談及び保育者の育成指導を行う。

I-2 教材・書籍・研究誌頒布事業

研究事業、研修事業、認定事業の成果をもとに、保育内容の充実を図るための教材を、ホームページやパンフレット、研修での広報を活用して頒布を行った。

また、園児の絵画を募集し、御正忌報恩講期間中、真宗本廟（東本願寺）や京都駅地下ギャラリーに展示する園児絵画展を開催した。応募作品の一部で「しんしゅうこどもかれんだー」を発行した。

保育者の資質の向上に資する機関誌や書籍等を頒布した。

(1) 保育教材の頒布

① 各教材の頒布

教材・物品名	価格	仕入値	仕入予定数	頒布予定数
合掌人形 しんらんさま	550円	320円	-	200
うでわ念珠 青 子ども用	200円	174円		1000
うでわ念珠 青 大人用	200円	184円		1000
うでわ念珠 ピンク 子ども用	200円	174円		1000
うでわ念珠 ピンク 大人用	200円	184円		1000
白念珠	120円	105円	-	800
念珠袋	280円	235円		800
おつとめちょう	100円	40円	-	500
真宗保育のカリキュラム入門	530円	240円	-	30
八女ちょうちん	180円	107円	500	500
しんしゅうこどもかれんだー	270円	238円	6000	5500
真宗保育の源流をたずねて	200円	186円	-	10
真宗保育カリキュラム vol.1	1,500円	1,827円	-	100
真宗保育カリキュラム vol.2	1,000円	859円	-	100
真宗保育カリキュラム vol.3	1,000円	575円	-	100
こどものうた①「誕生」CD	500円	388円	-	10
こどものうた②「そだつ」CD	500円	337円	-	0
お誕生シール<慶讃記念教材>	110円	81円		

〈真宗保育ブックレットシリーズ〉

教材・物品名	価格	仕入値	仕入予定数	頒布予定数
10. 真宗と保育（一楽真）	280円	105円	-	100
11. いのちありがとう（真城義麿）	240円	151円	-	10
13. 真宗保育をデザインする（富岡量秀）	250円	160円	-	50
14. 唯我独尊の教え-誕生の意味-（吉元信曉）	240円	175円	-	50
15. 「する」から「ある」へ —養育論の試み—（芹沢俊介）	350円	125円	-	500
16. 真宗保育をデザインするⅡ —カリキュラム・マネジメントの視座—（富岡量秀）	300円	165円	-	500
17. サガエさんの「講義ノート」-真宗保育編- （佐賀枝夏文）	250円		-	500

17. 南無阿弥陀仏の保育 (真城義磨)	350円	230円	1,500	500
-------------------------	------	------	-------	-----

(2) 新教材の発行

- ① 園児絵画展に応募された作品で「しんしゅうこどもかれんだー」を作成した。
- ② 真宗保育ブックレットシリーズ18「南無阿弥陀仏の保育」を発行した
- ③ 「(仮称)サガエさんに聞いてみよう (総集編)」にかかる準備を進めた。

Ⅱ 幼児教育、保育関係者の資質向上事業（公益目的事業）

Ⅱ-1 研修事業

研修会においては、参加者の経験年数に応じ、新たな視点・視野を発見することにより、現場での保育実践に臨めるよう研修内容をより深めていく。

各連区・支部において、協会の研修に通底する研修「つたえる」での研修開催を奨励した。

また、各支部での研修に向けて事例等を提示できるように協議・検討を行った。

(1) 研究会・研修会事業

① 第64回仏教保育大学講座 事前学習会

期 日：2023年7月20日（木）

形 式：対面式

参 加 者：仏教保育大学講座 指導員・生活指導員

② 第64回仏教保育大学講座（浄土真宗本願寺派・真宗大谷派・真宗佛光寺派・真宗興正派・真宗高田派共催/真宗大谷派当番）

誰しもが数年の保育経験によって、自分の保育に対して限界を感じたり、さまざまな悩みを持つ。それらの事柄に向かいあえるよう親鸞聖人の教えに耳を傾け、自らの保育経験を省みる機会とする。

日程においては、少人数のグループ討議をするなかで、保育者自身の自己発見をすることにより保育観や保育姿勢を確認し深めあう。

対 象：2年目以上の保育者

期 間：2023年8月1日（火）～4日（金）

会 場：真宗本廟（東本願寺）・大谷大学・三木半旅館

講 師：脇淵 徹映氏（公益社団法人大谷保育協会 元理事長/真宗大谷派 大垣教区念通寺住職）

参加人数：70名

③ 新任研修会

各園の新任職員が園に従事してもつ戸惑いや疑問を通して、保育の新たな視点を学ぶ。また、仏教行事をとおして子どもたちに伝えたいことを知る。

対 象：1年目の保育者

期 間：2023年10月27日（金）～29日（日）

会 場：真宗本廟・同朋会館

講 師：田村晃徳氏（真宗保育研究所所長・田尻徳風保育園園長）

参加人数：10名

④ 主任・中堅保育者研修会（奉仕団）

保育を実践していくうえで、現場保育者の中心的存在となる主任・中堅保育者の位置づけは非常に重要である。真宗本廟を会場とし、親鸞聖人の開かれた真宗の教えを聞き、真宗保育の視座を確認し実践にいかしていく。

対 象：主任・中堅保育者（保育経験5年以上）

期 間：2024年6月14日（金）～16日（日）

会 場：真宗本廟・同朋会館

講 師：佐賀枝夏文氏（大谷大学名誉教授）

参加人数：7名

特記事項：保育心理士フォローアップ研修として開催（3ポイント付与）

⑤ カリキュラム研修会

『真宗保育カリキュラム』の普及・活用のため、日々の保育現場で保育者が『カリキュラム』をテキストとして、どのように活用すべきか研修・協議することを目的として開催した。

対 象：保育者

期 日：2024年5月25日（土）

講 師：田村晃徳氏（真宗保育研究所所長・田尻徳風保育園園長）

参加人数：11名

特記事項：保育心理士フォローアップ研修として開催（3ポイント付与）

⑥ 協会主催研修のシラバスの整備

協会主催の研修（新任研修会、仏教保育大学講座、主任・中堅保育者研修会、保育心理士、カリキュラム研修会）のシラバスの作成を進め、保育者の経験年数に応じた研修の内容を充実させた。

⑦ 協会主催研修の「キャリアアップ研修」の認定取得

昨年度から各都道府県ですすすめられている「保育士等キャリアアップ研修」認定に関し、協会主催研修のシラバスを活用し認定取得をめざす。また、先行して、将来、受講証明が可能となるよう、各研修の参加者に受講証を発行した。

Ⅱ-2 資格認定事業

保育心理士の資格認定、フォローアップに関する事業を行った。

保育心理士が学びの対象としているのは主に、全体の6%ともいわれる、いわゆる「気になる子どもたち」であるが、学びを通して、広く園児全体を見渡せる眼を持つことを目指し、より専門的な保育者の資質向上に努めている。

国や地方自治体とも連携を取りながら、保育心理士資格を拡充し、保育心理士空白県の早期解消を目指す。

また、2013年度から二種資格に有効期限を設けたことに伴い、引き続き一種資格への誘導を促進する。あわせて年会費徴収の向上を目指す。

保育心理士資格取得講座においては、2017年度より開始した保育士等キャリアアップ研修の認定取得に継続して取り組む。

(1) 保育心理士資格取得講座・フォローアップ講座

新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、修了式日程以外の科目について特例としてオンライン開催とした。

【本部主催資格取得講座】

①京都会場

《第1～5日程・修了式》

期 間：2023年8月22日(火) から27日(日)

形 式：対面研修

会 場：しんらん交流館・真宗大谷派宗務所

②名古屋会場

《第5日程・修了式》

期 日：2023年7月22日(土)、23日(日)

形 式：対面研修

会 場：同朋大学

《第1日程～第5日程・修了式》

期 日：2024年5月18日(土)、5月19日(日)

2024年6月8日(土)、6月9日(日)

2024年6月29日(土)、6月30日(日)

③オンライン講座 (A日程・B日程)

今年度から、修了式日程を除いたオンライン講座を2回転実施。

修了式については、各エリアにて実施した。

《A日程》

期 日：2023年6月3日(土)、6月24日(土)、7月15日(土)、
7月22日(土)、9月16日(土)、10月14日(土)、
11月4日(土)

《B日程》

期 日：2023年6月25日(日)、7月2日(日)、7月9日(日)、
9月3日(日) 9月24日(日)、11月5日(日)、
11月19日(日)

《修了式日程》

札幌エリア	2024年1月13日(土)	会場：札幌別院
仙台エリア	2023年12月17日(日)	会場：エスポワールみやぎ青年会館
関西エリア	2023年12月3日(土)	会場：真宗大谷派宗務所
福岡エリア	2023年12月17日(土)	会場：九州大谷短期大学
熊本エリア	2023年12月3日(日)	会場：大谷会館
鹿児島エリア	2023年12月13日(日)	会場：熊本教務支所

【本部主催フォローアップ講座】

- ①期日：2023年10月14日(土)
 講題：保育心理士としての保育デザイン、保育の本質
 講師：富岡量秀氏(大谷大学教授)
- ②期日：2024年5月12日(日)
 講題：本当の私
 講師：青木玲氏(九州大谷短期大学准教授)
- ③期日：2024年6月2日(日)
 講題：母親へのまなざし
 講師：細川美幸氏(西南学院大学准教授)

(2) 保育心理士フォローアップ講座

5年の期限がある保育心理士資格の更新のためにフォローアップ講座を開催
 講座開催地域を広げるため、エリア、連区、支部が主催して行った。

(3) エリア、連区、支部研修会での資格取得講座の開催

保育心理士資格取得講座の全国展開のため、エリア、連区、支部より申請が
 あった場合には、申請を受理し、エリア、連区、支部が主催となって開催した。

(4) 「保育心理士会賛助会員」の募集

保育心理士資格の更なる普及と、多くの方々の理解を得るために賛助会員を募った。

保育心理士会賛助会員・賛助会員年会費

認定種別	年会費	対象者	加入条件
一種会員	3,000円		
二種会員	3,000円		
賛助会員(個人・法人)	3,000円	設置者	保育心理概論の講義受講で入会可

(5) その他

① 認定に関する諸会議

【保育心理士認定委員会】

期 日：2023年9月25日(月)

2024年3月1日(金)

会 場：真宗大谷派宗務所

【保育心理士会集会】第15回保育心理研究会と併催

期 日：2024年1月28日（日）

開催形式：Zoom ウェビナー

【保育心理士講師集会】

開催なし

【保育心理士会幹事会】

期日：2023年7月28日（金）

2024年2月21日（水）

2024年3月27日（水）

【エリアマネージャー会議】

期 日：2024年1月27日（土）

会 場：真宗大谷派宗務所

※オンライン（zoom）会議と併催

② 保育心理士（二種）養成校との協議会

期 日：2024年3月1日（金）

会 場：真宗大谷派宗務所

※オンライン（zoom）会議と併催

Ⅲ 啓発・広報事業（公益目的事業）

保育者、保護者等子育てにかかわる人、団体等に情報を発信し、子育て支援の一端を担う。当協会の活動を一般社会に公開し、研修事業等への参加を呼び掛けるとともに、子育てや心の課題に関する情報を提供した。

（1）機関誌等の配布

① 月刊誌「真宗保育」を頒布した。

「巻頭コラム」は、協会内外から「真宗保育」についての意見が発信されるコーナーとする。

② 機関誌「ほいくしんり」（協会編、エイデル研究所発行）を頒布した。

（2）協会ウェブサイト ホームページの運営

分かりやすく、親しみのある情報発信につながるよう、コンテンツの見直し等検討を重ねた。

また、支部や加盟園で行っている活動報告を掲載するなど、協会全体で情報を共有できるよう連携を図った。

（3）園児絵画展

真宗保育に触れていただくことを願いとして、園児の絵画を公募し、すべての作品を御正忌報恩講期間にあわせて展示した。

期 間：2023年11月15日（水）～11月28日（火）正午まで

会 場：真宗本廟（東本願寺）御影堂北側高廊下・しんらん交流館
京都駅公益地下ストリートギャラリー

対 象：全国加盟園及び京都市内の幼稚園・保育園・認定こども園の園児
展 示 数：423点

（4）“こどものうた”事業

協会の研修テーマをもとに楽曲制作を行ってきた“こどものうた”事業は、総集編CDアルバム（2021年11月発行、全8曲収録）をもって完結。今後も保育現場のみならず、寺院における子ども会等に歌っていただけるよう引き続き広報した。

（5）広報・課題発信の拡充

『真宗保育』の発行、宗派の定期刊行物との連携など、さまざまな媒体を通しての広報を試行した。

（6）「子どもの森づくり運動」への参加

NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク主催による、就学前児童に向けた『自然体験学習プログラム』普及協力団体として、自然保護、環境学習の意識高揚に努めた。（現在、加盟園8ヶ園が参加）

IV 加盟園交流事業（相互扶助等事業）

（1）「令和6年能登半島地震」に伴う対応について

① 「令和6年能登半島地震」に伴う義援金について

2024年1月11日に「令和6年能登半島地震の対応に関する対策会議（以下、対策会議）」を設置し、加盟園に対し義援金の勧募を行った。

集められた義援金については、対策会議において協議された配分案を元に、被災地域に所在する新潟・富山・高岡・金沢・能登・小松支部の加盟園を対象とし、後日、見舞金としてお届けした。（計：34件）

② 能登支部の加盟園（3園）の巡回について

2024年2月22日に被災された能登支部の加盟園（3園）の巡回を実施し、被災状況の確認とお見舞いを行った。

巡回時に撮影した記録映像は、後日、加盟園を対象にYouTubeで公開した。

（2）人材発掘のための取り組み

研修会等において協会の活動内容を周知し、協力を要請した。

（3）加盟園加入促進

未加盟の幼稚園、保育園、認定こども園に働きかけ、加盟園の増加に努めた。

（4）各種保育団体との渉外

各種会合、記念式典等への参加を通じて、各種保育団体との連携、情報交換に努めた。

（5）「青少幼年センター」「しんらん交流館」事業との連携

宗派の青少幼年教化に関する施策事業と連携、共同事業などの方向性等の情報収集に努めた。

（6）会報「大谷保育」の発行

会報「大谷保育」を毎月1回発行し、全加盟園に配布する。協会内の各種研修会のお知らせ等を掲載した。

（7）「加盟園就職支援ポスター」の発行について

幼稚園教諭、保育士、保育教諭を目指す養成校の学生に向け、加盟園就職支援ポスターの制作を継続することを確認した。

（8）その他事業

① 表彰

ア. 保育功労者表彰

イ. 退職者への感謝状

会員の園職員が退職するときは、各園より報告を受け、感謝状を送付した。

ウ. 弔電

加盟園の設置者・園長などの功労者が逝去された場合は、弔電を送るとともに加盟園へ伝達した。

② 入園式・卒園式への祝辞

各加盟園の入園式・卒園式へ理事長名の祝辞を送付した。

V 管理部門

協会の総務（経理・労務・人事等）を遂行し組織運営の安定と活動を支える。
公益社団法人として公開すべき情報（電子公告）を適時公開する等、協会の活動を広く周知した。

（1）管理業務の遂行

販売管理システムを活用した物品販売作業、在庫管理を行った。

（2）協会ICT環境の維持、運営

公益法人として公開すべき協会の情報を（電子公告等）公開した。

また、協会のICTインフラの維持運営、協会保有データの保全に関して、機密性を維持するとともに適時改善する。

引き続き、社会的状況を受け、オンラインによる会議、研修、広報等、さまざまな可能性を各部門連携のもと試行していく。

（3）採用情報の提供

幼稚園教諭、保育士、保育教諭等の人材確保に資するため、就職活動中の関係学校生対象に、協会加盟園への採用情報をポスター類やホームページを用いて提供する。特に大谷大学との連携を深めながら事業に取り組んだ。

（4）協会をPRするパンフレット等の作成

当協会の活動を広くPRするため、パンフレット等の作成を検討した。

（5）加盟園情報の収集、管理

会費納入手続き、入会手続きの機会を活用し正確な加盟園情報の収集、管理を行い、定期的な加盟園名簿の改訂を行った。

（6）常務理事会に関する事項

期日：2023年12月21日（木）

2024年3月27日（木）

（7）役員会等に関する事項

① 理事会に関する事項

ア. 第29回（事業報告・決算承認）

期 日：2023年8月31日（木）／会場：真宗大谷派宗務所

イ. 第30回（次年度予算・事業計画）

期 日：2024年5月15日（水）／会場：真宗大谷派宗務所

ウ. 第12回総会

期日：2023年9月15日（金）／会場：真宗大谷派宗務所

※いずれもWEB会議（ZOOM使用）にて開催した

① 正副部所長会

期 日：2024年4月17日（水）

② 総務部会

期 日：2024年11月6日（水）

2024年3月5日（月）

公益社団法人 大谷保育協会

2023年度決算資料

2023年7月1日～2024年6月30日

- ① 貸借対照表
- ② 正味財産増減計算書
- ③ 正味財産増減計算書内訳表
- ④ 財務諸表に対する注記
- ⑤ 収支計算書（増減計算方式）
- ⑥ 財産目録
- ⑦ 計算書類の附属明細書
- ⑧ 減価償却資産の計算書（ご参考）
- ⑨ 会計3兄弟の検討（ご参考）

貸借対照表

2024年 6月 30日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現 金 ・ 預 金	30,474,068	31,059,705	△585,637
未 収 金	1,312,460	0	1,312,460
前 払 金	102,080	144,320	△42,240
棚 卸 資 産	3,660,981	3,838,356	△177,375
流 動 資 産 合 計	35,549,589	35,042,381	507,208
2 固 定 資 産			
(1) 特 定 資 産			
投 資 有 価 証 券	20,000,000	20,000,000	0
寄 付 金 受 入 特 定 資 産	9,273,501	4,978,011	4,295,490
特 定 資 産 合 計	29,273,501	24,978,011	4,295,490
(2) そ の 他 固 定 資 産			
什 器 備 品	28,837	57,671	△28,834
そ の 他 固 定 資 産 合 計	28,837	57,671	△28,834
固 定 資 産 合 計	29,302,338	25,035,682	4,266,656
資 産 合 計	64,851,927	60,078,063	4,773,864
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
未 払 金	1,717,593	357,394	1,360,199
前 受 金	102,000	475,000	△373,000
預 り 金	23,707	38,865	△15,158
流 動 負 債 合 計	1,843,300	871,259	972,041
負 債 合 計	1,843,300	871,259	972,041
III 正 味 財 産 の 部			
1 指 定 正 味 財 産			
寄 付 金	9,273,501	4,978,011	4,295,490
指 定 正 味 財 産 合 計	9,273,501	4,978,011	4,295,490
(内 特 定 資 産 へ の 充 当 額)	(9,273,501)	(4,978,011)	(4,295,490)
2 一 般 正 味 財 産			
(内 特 定 資 産 へ の 充 当 額)	(20,000,000)	(20,000,000)	(0)
正 味 財 産 合 計	63,008,627	59,206,804	3,801,823
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	64,851,927	60,078,063	4,773,864

正味財産増減計算書

2023年7月1日から2024年6月30日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益	(39,000)	(39,000)	(0)
特定資産受取利息	39,000	39,000	0
② 受取会費	(14,877,182)	(15,694,950)	(Δ817,768)
正会員受取会費	6,190,000	6,235,000	Δ45,000
特別会員受取会費	8,087,182	8,559,950	Δ472,768
賛助会員受取会費	600,000	900,000	Δ300,000
③ 事業収益	(13,615,896)	(14,573,348)	(Δ957,452)
研修会講座収益	3,653,900	4,296,118	Δ642,218
教材等頒布収益	4,026,203	3,997,235	28,968
心理士認定収益	5,935,793	6,279,995	Δ344,202
④ 受取寄付金	(1,850,000)	(380,000)	(1,470,000)
受取寄付金振替額	1,850,000	380,000	1,470,000
⑤ 雑収益	(1,193,903)	(1,220,536)	(Δ26,633)
受取利息	317	339	Δ22
雑収益	1,193,586	1,220,197	Δ26,611
経常収益計	31,575,981	31,907,834	Δ331,853
(2) 経常費用			
① 事業経費	(28,460,911)	(27,359,471)	(1,101,440)
給料手当	3,298,700	3,323,492	Δ24,792
福利厚生費	809,201	587,836	221,365
会議費	214,188	152,211	61,977
旅費交通費	2,622,350	2,565,986	56,364
通信運搬費	3,146,027	3,003,690	142,337
減価償却費	28,834	57,667	Δ28,833
消耗品費	165,398	69,074	96,324
印刷製本費	5,982,263	5,546,034	436,229
頒布品費	1,182,099	1,745,429	Δ563,330
貸借料	829,591	870,910	Δ41,319
諸謝金	3,571,923	5,297,032	Δ1,725,109
支払寄付金	1,850,000	380,000	1,470,000
委託費	4,113,200	2,959,896	1,153,304
支払手数料	478,613	649,879	Δ171,266
雑費	168,524	150,335	18,189
事業費計	28,460,911	27,359,471	1,101,440
② 管理費			
給料手当	366,540	369,298	Δ2,758

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
福 利 厚 生 費	89,912	65,316	24,596
会 議 費	40,000	1,350	38,650
旅 費 交 通 費	596,676	455,185	141,491
通 信 運 搬 費	645,803	881,642	△235,839
減 価 償 却 費	0	109,123	△109,123
消 耗 品 費	83,703	16,248	67,455
印 刷 製 本 費	370,260	370,600	△340
委 託 費	1,084,225	902,000	182,225
支 払 手 数 料	253,570	186,776	66,794
雑 費	78,048	70,160	7,888
管 理 費 計	3,608,737	3,427,698	181,039
経 常 費 用 計	32,069,648	30,787,169	1,282,479
評価損益等調整前当期経常増減額	△493,667	1,120,665	△1,614,332
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	△493,667	1,120,665	△1,614,332
2 経 常 外 増 減 の 部			
(1) 経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△493,667	1,120,665	△1,614,332
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△493,667	1,120,665	△1,614,332
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	54,228,793	53,108,128	1,120,665
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	53,735,126	54,228,793	△493,667
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
① 受 取 寄 付 金	(6,145,490)	(0)	(6,145,490)
受 取 寄 付 金	6,145,490	0	6,145,490
② 一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	(△1,850,000)	(△380,000)	(△1,470,000)
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△1,850,000	△380,000	△1,470,000
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	4,295,490	△380,000	4,675,490
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	4,978,011	5,358,011	△380,000
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	9,273,501	4,978,011	4,295,490
III 正 味 財 産 期 末 残 高	63,008,627	59,206,804	3,801,823

正味財産増減計算書内訳表

2023年7月1日から2024年6月30日まで

(単位：円)

科	目	公益目的事業会計	共益事業等会計	法人会計	内部取引消去	総合計
I 一般正味財産増減の部						
1 経常増減の部						
(1) 経常増減の部						
① 特定資産取得	收益	()	0)	()	0)	()
② 特定資産運用	利息	0	0	39,000	0	39,000
③ 特別会費	受取会費	11,931,746	666,916	2,278,520	0	14,877,182
④ 特別会費	受取会費	4,952,000	666,916	571,084	0	6,190,000
⑤ 特別会費	受取会費	6,469,746	0	1,617,436	0	8,087,182
⑥ 特別会費	受取会費	510,000	0	90,000	0	600,000
⑦ 特別会費	受取会費	13,615,896	0	0	0	13,615,896
⑧ 特別会費	受取会費	3,653,900	0	0	0	3,653,900
⑨ 特別会費	受取会費	4,026,203	0	0	0	4,026,203
⑩ 特別会費	受取会費	5,935,793	0	0	0	5,935,793
⑪ 特別会費	受取会費	0	1,850,000	0	0	1,850,000
⑫ 特別会費	受取会費	0	1,850,000	0	0	1,850,000
⑬ 特別会費	受取会費	360,000	0	833,903	0	1,193,903
⑭ 特別会費	受取会費	0	0	317	0	317
⑮ 特別会費	受取会費	360,000	0	833,586	0	1,193,586
⑯ 特別会費	受取会費	25,907,642	2,516,916	3,151,423	0	31,575,981
(2) 経常増減の部						
① 事業経費	費用	()	2,516,916	0	0	()
② 事業経費	費用	25,943,995	0	0	0	28,460,911
③ 事業経費	費用	3,298,700	0	0	0	3,298,700
④ 事業経費	費用	809,201	0	0	0	809,201
⑤ 事業経費	費用	199,645	14,543	0	0	214,188
⑥ 事業経費	費用	2,492,529	129,821	0	0	2,622,350
⑦ 事業経費	費用	3,110,159	35,868	0	0	3,146,027
⑧ 事業経費	費用	28,834	0	0	0	28,834
⑨ 事業経費	費用	144,180	21,218	0	0	165,398
⑩ 事業経費	費用	5,971,263	11,000	0	0	5,982,263
⑪ 事業経費	費用	883,207	298,892	0	0	1,182,099
⑫ 事業経費	費用	829,591	0	0	0	829,591
⑬ 事業経費	費用	3,561,923	10,000	0	0	3,571,923
⑭ 事業経費	費用	0	1,850,000	0	0	1,850,000
⑮ 事業経費	費用	4,113,200	0	0	0	4,113,200

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	共益事業等会計	法人会計	内部取引消去	総合計
支料	456,063	22,550	0	0	478,613
雑費	45,500	123,024	0	0	168,524
事業費	25,943,995	2,516,916	0	0	28,460,911
② 管	0	0	366,540	0	366,540
給料	0	0	89,912	0	89,912
福厚生	0	0	40,000	0	40,000
会費	0	0	596,676	0	596,676
旅通	0	0	645,803	0	645,803
通信	0	0	83,703	0	83,703
消耗	0	0	370,260	0	370,260
印刷	0	0	1,084,225	0	1,084,225
委託	0	0	253,570	0	253,570
支手	0	0	78,048	0	78,048
雑料	0	0	3,608,737	0	3,608,737
管	25,943,995	2,516,916	3,608,737	0	32,069,648
経常用計	△36,353	0	△457,314	0	△493,667
経常用計	0	0	0	0	0
当期経常用計	△36,353	0	△457,314	0	△493,667
2 経常用増減の部					
(1) 経常用増減の部					
経常用増減の部	0	0	0	0	0
(2) 経常用増減の部					
経常用増減の部	0	0	0	0	0
当期経常用増減の部	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△36,353	0	△457,314	0	△493,667
当期一般正味財産増減額	△36,353	0	△457,314	0	△493,667
一般正味財産期首残高	10,336,386	0	43,892,407	0	54,228,793
一般正味財産期末残高	10,300,033	0	43,435,093	0	53,735,126
II 指定正味財産増減の部					
① 受取寄付金	0	6,145,490	0	0	6,145,490
受取寄付金	0	6,145,490	0	0	6,145,490
② 一般正味財産への振替額	0	△1,850,000	0	0	△1,850,000
一般正味財産への振替額	0	△1,850,000	0	0	△1,850,000
当期指定正味財産増減額	0	4,295,490	0	0	4,295,490

(単位：円)

科	目	公益目的事業会計	共益事業等会計	法人会計	内部取引消去	総合計
指定正味財産	首残高	4,928,011	50,000	0	0	4,978,011
指定正味財産	期末残高	4,928,011	4,345,490	0	0	9,273,501
Ⅲ 正味財産	期末残高	15,228,044	4,345,490	43,435,093	0	63,008,627

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券・・・取得価額
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
・・・最終仕入原価法による低価法
- (3) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産・・・定率法
無形固定資産・・・定額法
- (4) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込方式により処理しております。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
投資有価証券	20,000,000	0	0	20,000,000
寄付金受入特定資産	4,978,011	6,145,490	1,850,000	9,273,501
合計	24,978,011	6,145,490	1,850,000	29,273,501

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち基金からの充当額)	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産					
一般特定資産・投資有価証券	20,000,000	0	0	(20,000,000)	0
寄付金受入特定資産①	919,930	0	(919,930)	0	0
寄付金受入特定資産②	4,433,571	0	(4,433,571)	0	0
寄附金受入特定資産③	3,000,000	0	(3,000,000)	0	0
寄附金受入特定資産④	920,000	0	(920,000)	0	0
合計	29,273,501	(0)	(9,273,501)	(20,000,000)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	735,776	706,939	28,837
ソフトウェア	2,693,460	2,693,460	0
合計	3,429,236	3,400,399	28,837

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりです。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
大阪府公募公債	20,000,000	19,812,000	△188,000
合 計	20,000,000	19,812,000	△188,000

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	0
目的使用による振替額	1,850,000
合 計	1,850,000

収 支 計 算 書

2023年 7月 1日から 2024年 6月 30日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 特定資産運用益	(39,000)	(39,000)	(0)	
特定資産受取利息	39,000	39,000	0	
② 受取会費	(15,215,000)	(14,877,182)	(337,818)	
正会員受取会費	6,265,000	6,190,000	75,000	
特別会員受取会費	8,350,000	8,087,182	262,818	
賛助会員受取会費	600,000	600,000	0	
③ 事業収益	(13,550,000)	(13,615,896)	(Δ65,896)	
研修会講座収益	3,450,000	3,653,900	Δ203,900	
教材等頒布収益	3,900,000	4,026,203	Δ126,203	
心理士認定収益	6,200,000	5,935,793	264,207	
④ 受取寄付金	(6,145,490)	(1,850,000)	(4,295,490)	
受取寄付金振替額	6,145,490	1,850,000	4,295,490	
⑤ 雑収益	(1,301,000)	(1,193,903)	(107,097)	
受取利息	1,000	317	683	
雑収益	1,300,000	1,193,586	106,414	
経常収益計	36,250,490	31,575,981	4,674,509	
(2) 経常費用				
① 事業経費	(34,570,490)	(28,460,911)	(6,109,579)	
給料手当	3,900,000	3,298,700	601,300	
福利厚生費	900,000	809,201	90,799	
会議費	400,000	214,188	185,812	
旅費交通費	2,750,000	2,622,350	127,650	
通信運搬費	3,500,000	3,146,027	353,973	
減価償却費	30,000	28,834	1,166	
消耗品費	165,000	165,398	Δ398	
印刷製本費	5,700,000	5,982,263	Δ282,263	
頒布品費	1,500,000	1,182,099	317,901	
賃借料	900,000	829,591	70,409	
諸謝金	3,700,000	3,571,923	128,077	
支払寄付金	6,145,490	1,850,000	4,295,490	
委託費	4,400,000	4,113,200	286,800	
支払手数料	450,000	478,613	Δ28,613	
雑費	130,000	168,524	Δ38,524	
事業費計	34,570,490	28,460,911	6,109,579	
② 管理費				
給料手当	430,000	366,540	63,460	

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
福 利 厚 生 費	100,000	89,912	10,088	
会 議 費	40,000	40,000	0	
旅 費 交 通 費	450,000	596,676	Δ146,676	
通 信 運 搬 費	630,000	645,803	Δ15,803	
消 耗 品 費	100,000	83,703	16,297	
印 刷 製 本 費	380,000	370,260	9,740	
委 託 費	1,060,000	1,084,225	Δ24,225	
支 払 手 数 料	200,000	253,570	Δ53,570	
雑 費	100,000	78,048	21,952	
管 理 費 計	3,490,000	3,608,737	Δ118,737	
経 常 費 用 計	38,060,490	32,069,648	5,990,842	
評価損益等調整前当期経常増減額	Δ1,810,000	Δ493,667	Δ1,316,333	
評 価 損 益 等 計	0	0	0	
当 期 経 常 増 減 額	Δ1,810,000	Δ493,667	Δ1,316,333	
2 経 常 外 増 減 の 部				
(1) 経 常 外 収 益				
経 常 外 収 益 計	0	0	0	
(2) 経 常 外 費 用				
経 常 外 費 用 計	0	0	0	
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	Δ1,810,000	Δ493,667	Δ1,316,333	
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	Δ1,810,000	Δ493,667	Δ1,316,333	
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	54,228,793	54,228,793	0	
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	52,418,793	53,735,126	Δ1,316,333	
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部				
① 受 取 寄 付 金	(6,145,490)	(6,145,490)	(0)	
受 取 寄 付 金	6,145,490	6,145,490	0	
② 一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	(Δ6,145,490)	(Δ1,850,000)	(Δ4,295,490)	
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	Δ6,145,490	Δ1,850,000	Δ4,295,490	
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	4,295,490	Δ4,295,490	
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	4,978,011	4,978,011	0	
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	4,978,011	9,273,501	Δ4,295,490	
III 正 味 財 産 期 末 残 高	57,396,804	63,008,627	Δ5,611,823	

財 産 目 録

2024年6月30日現在

(単位:円)

科 目	場 所 等	物 量	使用目的等	金 額
I 資 産 の 部				
1 流 動 資 産				
現 金 預 金	手元保管		運転資金として	89,841
現 金	福井銀行 京都支店#0031940			8,604,043
普 通 預 金	福井銀行 京都支店#0092423			85
定 期 預 金	福井銀行 京都支店#3101743			4,702,009
郵 便 貯 金	郵便振替口座#01020-4-11705			6,729,450
	郵便振替口座#00980-8-182714			4,316,934
	郵便振替口座#01000-0-19739			6,031,706
未 収 金	正会員費			720,000
	特別会員費			592,460
前 払 金	上手くんαProIIライセンス料			102,080
棚 卸 資 産	頒布品			812,264
	印刷製本			2,848,717
流 動 資 産 合 計				35,549,589
2 固 定 資 産				
(1) 特 定 資 産				
投 資 有 価 証 券	大阪府公募公債 第425回		満期保有目的で保有し、運用益を本部	20,000,000
	R9年10月29日償還		管理費の財源として使用している。	
寄 付 金 受 入 特 定 資 産	間野先生寄付分		公益目的869,930円、共益目的50,000	919,930
	福井銀行定期預金#3101743			
	義援金分		公益目的138,081円、共益目的4,295,490	4,433,571
	福井銀行定期預金#3101743			
	学校法人映徳学園寄付分		公益目的	3,000,000
	福井銀行定期預金#3101743			
	全国大会寄付分		公益目的	920,000
	福井銀行定期預金#3101743			
特 定 資 産 合 計				29,273,501
(2) そ の 他 固 定 資 産				
什 器 備 品	PC4台			28,837
そ の 他 固 定 資 産 合 計				28,837
固 定 資 産 合 計				29,302,338
資 産 合 計				64,851,927
II 負 債 の 部				
1 流 動 負 債				
未 払 金	山市商事 真宗保育送送料			104,763
	山市商事 教材送送料			4,730
	ヤマグチ八女ちようちん調整			33,286
	心理士講座eラーニング撮影費			783,750
	保育心理士旅費、諸謝金			512,520
	研修旅費			79,940
	IB手数料			1,100
	NTTドコモ			8,364
	NTTコミュニケーションズ			5,610
	JCB STORES.JP他			35,100
	社会保険料			148,430
前 受 金	保育心理士2024年資格取得講座			102,000
預 り 金	源泉税			23,707
流 動 負 債 合 計				1,843,300
負 債 合 計				1,843,300
正 味 財 産				63,008,627

附 属 明 細 書

2023年7月1日から2024年6月30日まで

- (1) 基本財産及び特定資産の明細
財務諸表に対する注記に記載のとおりです。

- (2) 引当金の明細
該当事項はありません。

1頁
令和5年7月1日
至 令和6年6月30日

減価償却資産の計算書

公益社団法人 大谷保育協会
法人（定率法）

（科目別明細書）

科目・品目	減価償却資産の名称	数量	耐用年数	取得価額	取得後圧縮率	償却率	償却年月	数量	償却年月	償却額	当期増加金額	当期減少金額	償却月数	普通償却限度額	特別償却限度額	普通償却過不足	特別償却過不足	普通償却額	特別償却額	当期償却額	期末償却累計額	摘要	
科目 80	【器具及び備品】																						
80-00004	事務用PC Vivomini	1	4	187,880		1.000	令和02.01	1	12	35,228			12								187,879	I.A.R	
00005	事務用PC Vivomini	1	4	187,880		1.000	令和02.01	1	12	35,228			12								187,879	I.A.R	
00006	事務用ノートPC LIFEBOOK	1	4	206,236		1.000	令和02.01	1	12	38,670			12								206,235	I.A.R	
00007	WEB配信用Microsoft Surface Pro8 公益事業費（保育心理士）	1	4	153,780		0.500	令和04.01	1	12	57,668			12	28,834	28,834					28,834	28,834	28,834	
	科目小計			735,776						57,671				28,834	28,834					28,834	28,837	706,939	
	TOTAL			735,776						166,794													
科目 90	【無形固定資産】																						
90-00001	日本ICS 公益法人ソフト	1	5	210,000		0.200	平成23.01	1	12	210,000			12								210,000	A 定額法	
00002	保育心理士システム 公益事業費	1	5	2,483,460		0.200	平成28.04	1	12	2,483,460			12								2,483,460	A 定額法	
	科目小計			2,693,460						2,693,460											2,693,460		
	TOTAL			3,429,236						57,671				28,834	28,834					28,834	28,837	3,400,399	
	総合計			3,429,236						2,860,254											3,400,399		
	TOTAL			3,429,236						2,860,254													

【分別区分】 A-償却済 B-期中減少 C-期中増加 D-期中増加 E-特別償却 A F-特別(即時) C-増加償却 A H-特別償却 B I-当期超過 J-当期不足 K-圧縮超過 L-一括減少 M-当期非償却 N-前期超過 O-前期不足 P-移動
 Q-旧暦5年均等 R-改定償却 S-資本的支出 T-短縮・中古 U-遊休 V-相融・合併 W-翌繰超過 X-翌繰不足 Y-減却資産 Z-分割

・会計3兄弟の検討

①収支相償	R4年度 (R5年6月期)	R5年度 (R6年6月期)
公益事業収入(A)	26,777,812	25,907,642
公益事業支出(B)	26,848,914	25,943,995
収支差額(A-B)	△71,102	△36,353
判定結果	○	○

※当期は特別会費の75%、正会費70%、賛助会費の70%を公益事業へ繰入れた。
 ※当期は特別会費の80%、正会費80%、賛助会費の85%を公益事業へ繰入れた。

②公益目的事業比率	R4年度 (R5年6月期)	R5年度 (R6年6月期)
公益事業支出(C)	26,848,914	25,943,995
経常費用計(D)	30,787,169	32,069,648
支出割合(C/D)	87.21%	80.90%
判定結果	○	○

③遊休財産額の保有制限	R4年度 (R5年6月期)	R5年度 (R6年6月期)
資産総額(E)	60,078,063	64,851,927
控除対象負債(F)	555,013	1,179,985
控除対象財産(G)	24,978,011	29,273,501
遊休財産額(E-F-G)	34,545,039	34,398,441
保有制限額(=C)	26,848,914	25,943,995
判定結果	×	×

※公益事業支出1年間分が上限。上限オーバー
 ※公益事業支出1年間分が上限。上限オーバー

控除対象負債の計算(参考)		
負債総額(1)	871,259	1,843,300
特定資産(2)	20,000,000	20,000,000
指定正味財産(3)	4,978,011	9,273,501
一般正味財産(4)	54,228,793	53,735,126
控除不可負債(2×1/(1+4))	316,246	663,315
控除対象負債の計算(1-上記)	555,013	1,179,985

監査報告書

公益社団法人 大谷保育協会

代表理事 五島 満 様

私たち監事は、本法人の2023年度(2023年7月1日から2024年6月30日まで)の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私たちは、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類を閲覧し、主たる事務所において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書ならびに会計帳簿等の調査を行い、事業報告及びその附属明細書、ならびに計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表、正味財産増減計算書、個別注記表、附属明細書の監査を実施しました。


監査結果


- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款に従い、収支及び財産の状況等を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

以 上

2024年7月29日

公益社団法人大谷保育協会

監事 橋川 昌治 

監事 柴田 正次郎 

議案第3号 公益社団法人大谷保育協会定款施行細則の一部改正について

(新旧対照表) 公益社団法人大谷保育協会定款施行細則

新(改正後)	旧(改正前)	備考欄
<p>第4条 事務局に、次の職員を置く。</p> <p>(1) 事務局長 1名</p> <p>(2) <u>主事</u> 1名</p> <p>(3) <u>書記</u> 若干名</p> <p>2. 必要により、事務局に嘱託を置き、事務局の業務を委嘱することができる。</p> <p>3. 事務局長は理事会が任免する。</p> <p>4. その他の職員は理事長が任免する。</p> <p>5. 事務局長は、事務局の事務を統括する。</p> <p>6. <u>主事</u>は、事務局長を補佐し、<u>書記</u>を指導・監督する。また事務局長に事故あるときは、その職務を代行する。</p> <p>7. <u>書記</u>は事務局の事務を遂行すると共に各部所の事業実行の支援を行う。</p>	<p>第4条 事務局は、次の職員を置く。</p> <p>(1) 事務局長 1名</p> <p>(2) 事務局主事 1名</p> <p>(3) 専任職員 若干名</p> <p>2. 事務局長は理事会が任免する。</p> <p>3. その他の職員は理事長が任免する。</p> <p>4. 事務局長は、事務局の事務を統括する。</p> <p>5. 事務局主事は、事務局長を補佐し、専任職員を指導・監督する。また事務局長に事故あるときは、その職務を代行する。</p> <p>6. 専任職員は事務局の事務を遂行すると共に、各部所の事業実行の支援を行う。</p>	<p>(変更)</p>

附 則

1 この施行細則は、2024年9月 日(総会承認日)から施行する。

以 上

【議案第4号】公益社団法人大谷保育協会 会員に関する規程の一部改正について

提案趣旨

当協会の運営については、公益社団法人大谷保育協会定款第3条に規定されている目的達成のための事業をおこなうため、毎年事業計画、収支予算書を作成して理事会の議決を経て総会に報告を行っております。

当協会における収入の主なるものは受取会費（正会員費・特別会員費、賛助会員費）と事業収益（研修会講座収益、教材等頒布収益、心理士認定収益）である。そして収益全体の約4分の1が特別会員費（宗派助成金）で賄われております。

しかし社会状況の変化に伴い、宗派の経常予算が縮小していく中で、今後の幼児教化を担っていく宗派の関係団体として、自立と活性化を図っていくためには、将来にわたって協会独自の安定した財源を確保していくことが不可欠であります。

これまでも正会員費の改定については、社団化法人化時点（1979年）では年額5,000円であったものを1995年に年額10,000円に改定。2005年に年額15,000円に改定と行ってまいりました。

その後、19年間会費の金額を据え置いておりましたが、今後も引き続き、協会諸研修や保育心理士事業の充実と今後の協会の安定的な運営と体制強化を図るため、正会員費の値上げについて思料した次第です。

しかしながら現在の社会情勢の中、正会員費改定（値上げ）に対するご意見・反発等が予想されますが、他の多くの関係諸団体（幼稚園・保育関係）と比較しても高額ではなく、法人格を持った団体としての責務を果たすには、正会員費の改定は不可欠であることをご理解いただきたく提案いたします。

正会員費

【現 行】 15, 000円



【改定後】 20, 000円

議案第4号 公益社団法人大谷保育協会 会員に関する規程の一部改正について

(新旧対照表) 公益社団法人大谷保育協会 会員に関する規程

新 (改正後)	旧 (改正前)	備考欄
<p>(入会金及び会費)</p> <p>第5条 定款第7条に規定する入会金及び会費は、以下の通りとする。但し理事長が認めた場合は、会費を免除することができる。</p> <p>(1) 正会員 入会金 0円 会費 20,000円</p> <p>(2) 特別会員 入会金 0円 会費 別途理事会で定める金額</p> <p>(3) 賛助会員 入会金 0円 会費 一口 10,000円以上</p> <p>(4) 名誉会員 入会金 0円 会費 0円</p>	<p>(入会金及び会費)</p> <p>第5条 定款第7条に規定する入会金及び会費は、以下の通りとする。但し理事長が認めた場合は、会費を免除することができる。</p> <p>(1) 正会員 入会金 0円 会費 15,000円</p> <p>(2) 特別会員 入会金 0円 会費 別途理事会で定める金額</p> <p>(3) 賛助会員 入会金 0円 会費 一口 10,000円以上</p> <p>(4) 名誉会員 入会金 0円 会費 0円</p>	(変更)

附 則

1 この施行細則は、2024年9月 日 (総会承認日) から施行する。

以 上

2024年度事業計画

自 2024年7月1日 至 2025年6月30日

【真宗保育理念】 「本願に生き、ともに育ちあう保育」
【総合テーマ】 「ともに生き ともに育ちあう保育を実践しよう」

【基本認識】

当協会の事業は、全国428施設、約4万人の在園児とその保護者・関係者による保育現場で取り組まれてきた。それは、真宗大谷派の青少年教化事業の流れを受け継ぎ、協会関係者に限定したものではなく、あらゆる人々を対象としている。

新型コロナウイルス感染症により社会が大きく変化する状況の中、今一度「真宗保育」を掲げる協会の公益性を課題に事業を展望していきたい。

<研修テーマ「つたえる」実践年度の延長>

2021年度の「第19回全国真宗保育研修大会」(期日:2021年7月3日(土)/会場:難波別院 御堂会館)において確認された研修テーマ「つたえる」の実践年度4年目として諸事業に取り組む。

各加盟園の日々の保育現場において、子ども達、家庭、保育者、地域社会の子育て、保育、幼児教育の中で、研修テーマ「つたえる」実践ための手法、ツール、研修を広く公開していく。

<『「真宗保育」保育者養成テキスト』(仮称)の具体化>

また、従来の『真宗保育カリキュラム』の活用に加えて、三部門協議(真宗保育研究所、保育心理士会、研修部)から具体化された、『「真宗保育」保育者養成テキスト』(仮称)作成を継続する。「真宗保育」の言語化、大谷保育協会が提起提言する保育、幼児教育のあり方を広く公開するために、保育者養成の現場にもわかりやすい形で「つたえる」ためのテキスト作りとしていきたい。

<保育心理士会の一層拡充>

大谷保育協会が目指す、保育、幼児教育の具体的な内容として「真宗保育、心理学習を基本とした保育者の専門性の向上」がある。

一人ひとりの発達に合わせて、細やかに、子どもたちや保護者に向き合い、心のケアまでをカバーできる保育の専門家「保育心理士」を養成するための講座を広く公開していく。また保育士、保育教諭、幼稚園教諭の処遇改善研修としても位置付けていく。

【重点施策】

(1) 『真宗保育カリキュラム』を基軸にした事業の展開

① 『真宗保育カリキュラム』の普及・活用

研修事業や保育実践における『真宗保育カリキュラム』の活用が増えたことで、その状況をフォローする体制が必要になっている。各部門と連携をとりながら、さらに『真宗保育カリキュラム』の普及を図り諸課題に取り組む。また専用の教材システム（オンデマンド配信プラットフォーム）を用いて、講義を配信しより充実した研修体制を構築する

② 普及・活用のための人材養成、実践体験の還元

さまざまな乳幼児教育・保育関係者との対話によって、「真宗保育」が広く公開されていくよう、「真宗保育について語れる人」の誕生を課題としている。

また、真宗保育カリキュラムの実践を、各種研修・広報などを通じ現場に還元する場を持つことで、乳幼児教育・保育経験を共有していく。

③ 「真宗保育」保育者養成テキストの制作

真宗大谷派学校連合会と共同し、「真宗保育」保育者養成テキストの制作を進める。

テキスト制作には、主に真宗大谷派学校連合会の養成校と真宗保育研究所が関わり、2025年の発行に向け準備を進める。

(2) 「つたえる」をテーマとした研修計画の実践

現在の研修テーマ「つたえる」を諸研修に通底するテーマとし、さらに、各連区・支部においても同テーマでの研修開催を奨励していく。

一方で、新型コロナウイルス後の協会独自の研修の在り方を展望しながらも、国が保育者の処遇改善策として推進する保育士等キャリアアップ研修の増加により、真宗保育の研修機会を後回しにせざるを得ない状況が深刻である。

その現場の状況に対して、eラーニング研修、対面型研修を有効に活用しながら協会独自の「真宗保育」の研修計画（仮称）を具体化に向けて検討していきたい。

① 宗派の青少年教化事業との連携

特に、公益性をもって取り組まれてきた協会の実践や知見をもって、宗派の青少年教化事業との連携をすすめる。例えば、寺院単位の子ども会活動において、保育心理士資格取得講座の内容が共有されていくような連携につなげたい。

② 宗派の定期刊行物等での課題発信

青少年層や子育て世代が、現代社会において抱える課題は、ますます多様化し深刻なものも多い。まずは、宗派の定期刊行物などの機会を最大限に活用し公益社団法人として存在する協会としてより一層の課題発信に努めていく。

(3) 保育心理士の育成並びに活動支援の充実

①保育心理士の育成

「心によりそう保育者」を目指して2000年度より始まった保育心理士資格認定事業は、これまで4,444名の保育心理士を認定している。「保育心理士」は特許庁によって名称使用の専有が許可され認知度も向上しており、開かれた資格として社会貢献の一端を担っている。資格には5年以上の現場経験を有する一種と養成校において学び、現場への橋渡しとなる二種がある。

2024年度は、対面形式に開催する京都会場、名古屋会場に加え、eラーニング（ライブ形式・オンデマンド形式）での資格取得講座を開催する。

また、eラーニング（ライブ形式・オンデマンド形式）における修了式については、各エリアにおいて開催し、保育心理士エリアマネージャーと連携し、地方における保育心理士フォローアップ講座の開催を促す。

②保育心理士養成校の拡充

真宗大谷派学校連合会の幹事校である大谷大学をはじめ、学事施設との連携を密にし、さらに保育心理分野について、情報共有や学術的な取り組みが深まるよう養成校との関係構築、土壌整備に取り組む。

【一種】同朋大学大学院

【二種】九州大谷短期大学、京都光華女子大学、同朋大学、飯田女子短期大学
九州産業大学、大谷大学、仁愛女子短期大学

③保育心理士資格取得講座のキャリアアップ研修認定

国における保育士等のキャリアアップ体系構築の動きに際して、当資格の人員育成を推進するために、同講座を開催している都道府県での認定手続きを進め、全国的広がりをめざす。

【認定都道府県】

北海道、岐阜県、愛知県、京都府、兵庫県、福岡県、熊本県、鹿児島県、宮崎県

④保育心理士の活動の充実、および保育心理士各種手続きのIT化

エリアにおける保育心理士の活動支援の充実のため、保育心理会公式LINEサービスを導入する。導入後、保育士心理士エリアマネージャーと連携し、エリアにおけるフォローアップ講座の情報を保育心理士に届け、エリアにおける保育心理士の活動充実を目指す。

また、これまで保育心理士の各種手続きのIT化を図り、事務手続きの効率化を図る。

I 幼児教育及び保育内容の充実向上に寄与する事業（公益目的事業）

I-1 幼児教育及び保育に関する調査研究事業

真宗保育は子どもたちだけではなく、保育者も成長させるものでなければならない。そのような保育となるために、真宗保育についての基礎的研究を行う。理念、実践方法などについての研究を引き続き行う。

また、この研究結果を頒布事業、研修、資格認定事業などに反映し、真宗保育の公共性・公開性をはかる。

(1) 基礎研究

- ① 諸研究機関並びに学識経験者とともに真宗保育における課題、保育原理、カリキュラムについて学術的アプローチをおこない、乳幼児教育・保育、子育てにかかわる人々への普及を促進することを目的に「真宗保育研究所会議」を引き続き開催する。
- ② 真宗大谷派学校連合会の幹事校（大谷大学・光華女子大学・同朋大学／保育者養成校）の教員を交えて、『真宗保育カリキュラム Vol.1~3』の学術的表現への展開を図る。具体的には、『「真宗保育」保育者養成テキスト』（仮称）の作成を進めていく。
- ③ 『真宗保育カリキュラム』の一層の普及・深化への具体的方法を真宗保育研究所と協会各部門とが連携しながら考えていく。例えば、カリキュラムの携帯版（PDF化）についての検討、教材作成への提言・意見交換（研修部・出版部）、各園における『真宗保育カリキュラム』の使用法・具体的反応の収集と紹介（広報部）、各研修会への講師派遣（研修部）などの連携推進を図る。

(2) 臨床研究

- ① 臨床心理士会や学校心理学会などが学校現場で活躍し、かつ保育の現場に対応すべき人材の養成などを検討していることに鑑み、保育心理士の学問的根拠を明確にし、保育心理学会の設立を視野に入れた調査研究を実施する。その土壌養成のため「保育心理研究会」を開催する。

・第17回保育心理研究会

期 日：2025年2月2日（日）

会 場：大谷大学

講 師：未 定

- ② 保育相談及び育成指導

研究事業、研修事業、認定事業で蓄積された技術や知識をもって、各保育施設における保護者への子育て相談及び保育者の育成指導を行う。

I 幼児教育及び保育内容の充実向上に寄与する事業（公益目的事業）

I-2 幼児教育及び保育に関する教材、書籍、研究誌の頒布事業

研究事業、研修事業、認定事業の成果をもとに、保育内容の充実を図るための教材を、ホームページやパンフレット、研修での広報を活用して頒布に努める。

また、園児の絵画を募集し、御正忌報恩講期間中、真宗本廟（東本願寺）や京都駅地下ギャラリーに展示する園児絵画展を開催する。応募作品の一部で『しんしゅうこどもかれんだー』を発行し、市民に子どもたちの姿を伝える。

保育者の資質の向上に資する機関誌や書籍等を頒布し、子育てに関する情報提供を行う。

(1) 保育教材の頒布

① 各教材の頒布

教材・物品名	価格	仕入値	仕入予定数	頒布予定数
合掌人形 しんらんさま	650円	550円	-	200
うでわ念珠 青 子ども用	250円	174円		1000
うでわ念珠 青 大人用	250円	184円	1,000	1000
うでわ念珠 ピンク 子ども用	250円	174円		1000
うでわ念珠 ピンク 大人用	250円	184円		1000
白念珠	180円	160円	1,000	800
念珠袋	320円	302円	-	800
おつとめちょう	100円	40円	-	500
真宗保育のカリキュラム入門	530円	240円	-	30
八女ちょうちん	240円	207円	500	500
しんしゅうこどもかれんだー	270円	238円	6000	5500
真宗保育の源流をたずねて	200円	186円	-	10
真宗保育カリキュラム vol.1	1,500円	1,827円	-	100
真宗保育カリキュラム vol.2	1,000円	859円	-	100
真宗保育カリキュラム vol.3	1,000円	575円	-	100
こどものうた①「誕生」CD	500円	388円	-	10
こどものうた②「そだつ」CD	500円	337円	-	10
お誕生シール<慶讃記念教材>	110円	81円	-	1,000

〈真宗保育ブックレットシリーズ〉

教材・物品名	価格	仕入値	仕入予定数	頒布予定数
10. 真宗と保育（一楽真）	280円	105円	-	100
11. いのちありがとう（真城義麿）	240円	151円	-	10
13. 真宗保育をデザインする（富岡量秀）	250円	160円	-	50
14. 唯我独尊の教え-誕生の意味-（吉元信暁）	240円	175円	-	50
15. 「する」から「ある」へ —養育論の試み—（芹沢俊介）	350円	125円	-	50
16. 真宗保育をデザインするⅡ —カリキュラム・マネジメントの視座—（富岡量秀）	300円	165円	-	50

17. サガエさんの「講義ノート」－真宗保育編－ (佐賀枝夏文)	250円	180円	-	200
18. 南無阿弥陀仏の保育 (真城義麿)	350円	230円	-	200

(2) 新教材の発行

- ① 園児絵画展に応募された作品で「しんしゅうこどもかれんだー」を作成する。
- ② 「(仮称)サガエさんに聞いてみよう (真宗保育 Q&A 総集編)」の発行

Ⅱ 幼児教育、保育関係者の資質向上に寄与する事業（公益目的事業）

Ⅱ-1 幼児教育及び保育関係者に対する研修会事業

研修会においては、参加者の経験年数に応じ、新たな視点・視野を発見することにより、現場での保育実践に臨めるよう研修内容をより深めていく。

引き続き各連区・支部において、協会の研修に通底するテーマである「つたえる」での研修開催を奨励していく。

また、各支部での研修に向けて事例等を提示できるように協議・検討を行う。

(1) 研究会・研修会事業

① 第65回仏教保育大学講座 事前学習会

期 日：2024年7月（予定）

会 場：未定

参加者：仏教保育大学講座 指導員・生活指導員

② 第65回仏教保育大学講座（浄土真宗本願寺派・真宗大谷派・真宗佛光寺派・真宗興正派・真宗高田派共催）

誰しもが数年の保育経験によって、自分の保育に対して限界を感じたり、さまざまな悩みを持つ。それらの事柄に向かいあえるよう親鸞聖人の教えに耳を傾け、自らの保育経験を省みる機会とする。

日程においては、少人数のグループ討議をするなかで、保育者自身の自己発見をすることにより保育観や保育姿勢を確認し深めあう。

対 象：2年目以上の保育者

期 間：2024年8月1日（木）～4日（日）

会 場：西本願寺、龍谷大学（大宮学舎）、京都タワーホテル

講 師：五十嵐 雄道（佐賀大学医学部講師・西九州大学社会福祉学科死生学講師・浄土真宗本願寺派佐賀県圓光寺住職）

募集人数：64名

③ 新任研修会

各園の新任職員が園に従事してもつ戸惑いや疑問を通して、保育の新たな視点を学ぶ。また、仏教行事をとおして子どもたちに伝えたいことを知る。

対 象：1年目の保育者

期 間：2024年10月24日（木）～26日（土）

会 場：真宗本廟、しんらん交流館、大谷大学湖西キャンパス（予定）

講 師：山田恵文氏（大谷大学非常勤講師・真宗保育研究所所員）

募集人数：20名

④ 主任・中堅保育者研修会（奉仕団）

保育を実践していくうえで、現場保育者の中心的存在となる主任・中堅保育者の位置づけは非常に重要である。真宗本廟を会場とし、親鸞聖人の開かれた真宗の教えを聞き、真宗保育の視座を確認し実践にいかしていく。

対 象：主任・中堅保育者（保育経験5年以上）

期 日：2025年6月（予定）

会 場：真宗本廟・同朋会館

講 師：未 定

募集人数：10名

特記事項：保育心理士フォローアップ研修として開催（3ポイント付与）

⑤ カリキュラム研修会

『真宗保育カリキュラム』の普及・活用のため、日々の保育現場で保育者が『カリキュラム』をテキストとして、どのように活用すべきか研修・協議することを目的として開催する。

対 象：保育者

期 日：未 定

講 師：未 定

共 催：未 定

募集人数：50名

特記事項：保育心理士フォローアップ研修として開催（3ポイント付与）

⑥全国真宗保育研修大会

期 日：2025年5月10日（土）

会 場：聖徳幼児教育専門学校・品川プリンスホテル

参 加 者：設置者・園長・保育士・保育に関心のある方

定 員：未 定

運 営：東日本連区（東京支部）

⑦ オンデマンド配信

『真宗保育』の普及・活用のため、専用の教材システム（オンデマンド配信プラットフォーム）を用いて、各種研修会の講義内容の配信を行い、より充実した研修体制を構築する。

⑧ 協会主催研修のシラバスの整備

協会主催の研修（新任研修会、仏教保育大学講座、主任・中堅保育者研修会、保育心理士、カリキュラム研修会）のシラバスの作成を進め、保育者の経験年数に応じた研修の内容を充実させる。

⑨ 協会主催研修の「キャリアアップ研修」の認定取得

昨年度から各都道府県ですすすめられている「保育士等キャリアアップ研修」認定に関し、協会主催研修のシラバスを活用し認定取得をめざす。また、先行して、将来、受講証明が可能となるよう、各研修の参加者に受講証を発行する。

⑩ 研修テーマ「つたえる」の実践の最終年度として諸事業に取り組む。

研修テーマ「つたえる」の実践の最終年度として、総括点検をし、次回の「全国真宗保育研修大会」に向けて、新しい研修テーマの検討を行う。

Ⅱ 幼児教育、保育関係者の資質向上に寄与する事業（公益目的事業）

Ⅱ-2 幼児教育及び保育従事者に対する資格認定事業

保育心理士の資格認定、フォローアップに関する事業を行う。

保育心理士が学びの対象としているのは主に、全体の6%ともいわれる、いわゆる「気になる子どもたち」であるが、学びを通して、広く園児全体を見渡せる眼を持つことを目指し、より専門的な保育者の資質向上に努めている。

国や地方自治体とも連携を取りながら、保育心理士資格を拡充し、保育心理士空白県の早期解消を目指す。

また、2013年度から二種資格に有効期限を設けたことに伴い、引き続き一種資格への誘導を促進する。あわせて年会費徴収の向上を目指す。

保育心理士資格取得講座においては、2017年度より開始した保育士等キャリアアップ研修の認定取得に継続して取り組む。

(1) 保育心理士資格取得講座・フォローアップ講座

【本部主催資格取得講座】

①京都会場 保育心理士取得講座

(京都府保育等キャリアアップ指定)

《第1～6日程・修了式》

期 間：2024年8月20日(火) から25日(日)

形 式：対面研修

会 場：しんらん交流館・真宗大谷派宗務所

② eラーニング形式 保育心理士取得講座

(【予定】京都府保育等キャリアアップ指定)

今年度から、eラーニング形式(ライブ形式・オンデマンド形式)の保育心理士取得講座を開催する。

より受講しやすい環境を整え、保育心理士養成の充実を図る。

《オンデマンド形式》

期 間：2024年9月～12月

《ライブ形式(zoom)》

【A日程(土曜日)】2024年9月7日、9月21日、11月23日

【B日程(日曜日)】2024年9月22日、9月29日、11月24日

《修了式日程》

会 場：未定(エリアにて開催)

期 日：2025年1月(予定)

③名古屋会場 保育心理士取得講座

(【予定】愛知県保育等キャリアアップ指定)

期 間：2025年5月～6月

形 式：対面研修

会 場：同朋大学(予定)

④保育心理士フォローアップ講座

形 式：ライブ形式・オンデマンド形式

回 数：3回程度～5回

(2) 保育心理士フォローアップ講座

5年の期限がある保育心理士資格の更新のためにフォローアップ講座を開催する。講座開催地域を広げるため、エリア、連区、支部が主催して行う。

(3) エリア、連区、支部研修会での資格取得講座の開催

保育心理士資格取得講座の全国展開のため、エリア、連区、支部より申請があった場合には、申請を受理し、エリア、連区、支部が主催となって開催する。

(4) 「保育心理士会賛助会員」の募集

保育心理士資格の更なる普及と、多くの方々の理解を得るために賛助会員を募る。

保育心理士会賛助会員・賛助会員年会費

認定種別	年会費	対象者	加入条件
一種会員	3,000円		
二種会員	3,000円		
賛助会員（個人・法人）	3,000円	設置者	保育心理概論の講義受講で入会可

(5) その他

① 認定に関する諸会議

【保育心理士認定委員会】

年に2回程度(9月・3月)開催

会 場：真宗大谷派宗務所（予定）

【保育心理士会集会】第17回保育心理研究会と併催

期 日：2025年1月（予定）

会 場：大谷大学（予定）

【保育心理士講師集会】

必要に応じて開催

【保育心理士会幹事会】

年に3回程度開催、期日・会場 未定

【エリアマネージャー会議】

期 日：2025年2月1日（土）（予定）

会 場：真宗大谷派宗務所（予定）

② 保育心理士（二種）養成校との協議会

期 日：2025年3月（予定）

会 場：真宗大谷派宗務所（予定）

③ 保育心理士（一種・二種）養成校との協議会

必要に応じて開催

Ⅲ 幼児教育及び保育に関する一般社会への啓発啓蒙事業（公益目的事業）

保育者、保護者等子育てにかかわる人、団体等に情報を発信し、子育て支援の一端を荷う。当協会の活動を一般社会に公開し、研修事業等への参加を呼び掛けるとともに、子育てや心の課題に関する情報を提供する。

（1）機関誌等の配布

① 月刊誌『真宗保育』を頒布する。

「巻頭コラム」は、協会内外から「真宗保育」についての意見が発信されるコーナーとする。

② 機関誌『ほいくしんり』（協会編、エイデル研究所発行）を頒布する。

（2）協会ウェブサイト ホームページの運営

分かりやすく、親しみのある情報発信につながるよう、コンテンツの見直し等検討を重ねていく。

また、支部や加盟園で行っている活動報告を掲載するなど、協会全体で情報を共有できるよう連携を図っていく。

（3）園児絵画展

真宗保育に触れていただくことを願いとして、園児の絵画を公募し、すべての作品を御正忌報恩講期間にあわせて展示する他、協会ホームページ上において作品を公開する。

期 間：2024年11月15日（金）～11月28日（木）正午まで

会 場：真宗本廟（東本願寺）御影堂北側高廊下・しんらん交流館
京都駅公益地下ストリートギャラリー

対 象：全国加盟園及び京都市内の幼稚園・保育園・認定こども園の園児

（4）“こどものうた”事業

協会の研修テーマをもとに楽曲制作を行ってきた“こどものうた”事業は、総集編CDアルバム（2021年11月発行、全8曲収録）をもって完結。今後も保育現場のみならず、寺院における子ども会等に歌っていただけるよう引き続き広報活動を行う。

（5）広報・課題発信の拡充

『真宗保育』の発行、宗派の定期刊行物との連携など、さまざまな媒体を通しての広報を試行していく。

（6）「子どもの森づくり運動」への参加

NPO 法人子どもの森づくり推進ネットワーク主催による、就学前児童に向けた『自然体験学習プログラム』普及協力団体として、自然保護、環境学習の意識高揚に努める。（現在、加盟園8ヶ園が参加）

IV 共益事業 加盟園交流事業（相互扶助等事業）

全国支部より参加いただく設置者・園長・後継者との情報交換や交流を行う。

（1）人材発掘のための取り組み

研修会等において協会の活動内容を周知し、協力を要請する。

（2）加盟園加入促進

真宗大谷派関係寺院が運営する協会未加盟の幼稚園、保育園、認定こども園に働きかけ、加盟園の増加に努める。

（3）各種保育団体との渉外

各種会合、記念式典等への参加を通じて、各種保育団体との連携、情報交換に努める。

（4）「青少幼年センター」「しんらん交流館」事業との連携

宗派の青少幼年教化に関する施策事業と連携、共同事業などの方向性等の情報収集に努める。

（5）会報「大谷保育」の発行

会報「大谷保育」を毎月1回発行し、全加盟園に配布する。協会内の各種研修会のお知らせ等を掲載する。

（6）「加盟園就職支援ポスター」の発行について

幼稚園教諭、保育士、保育教諭を目指す養成校の学生に向け、加盟園就職支援ポスターを制作する。

（7）その他事業

① 表彰

ア. 保育功労者表彰（全国真宗保育研修大会時に行う）

イ. 永年勤続表彰（全国真宗保育研修大会時に行う）

ウ. 感謝状

会員の園職員が退職するときは、各園（各支部長経由）より報告を受け、感謝状を送る。

エ. 祝電・弔電

加盟園が記念行事等を開催した場合は祝電を送る。また、加盟園の設置者・園長などの功労者が逝去された場合は、弔電を送るとともに加盟園へ伝達する。（各支部長経由）

② 入園式・卒園式への祝辞

各加盟園の入園式・卒園式へ理事長名の祝辞を送る。

③ 各園での記念式典への感謝状

園設立周年行事などに際して、園や協会に対してご功績ある方々に協会名で感謝状を送る。

V 管理部門

協会の総務（経理・労務・人事等）を遂行し組織運営の安定と活動を支える。
公益社団法人として公開すべき情報（電子公告）を適時公開する等、当協会の活動を広く世間に知らせていく。

（1）管理業務の遂行

販売管理システムを活用した物品販売作業、在庫管理を行う。

（2）協会ICT環境の維持、運営

公益法人として公開すべき協会の情報を（電子公告等）公開し、社会的責任を果たす。また、協会のICTインフラの維持運営、協会保有データの保全に関して、機密性を維持するとともに適時改善する。

今年度は、社会的状況を受け、オンラインによる会議、研修、広報等、さまざまな可能性を各部門連携のもと試行していく。

（3）採用情報の提供

幼稚園教諭、保育士、保育教諭等の人材確保に資するため、就職活動中の関係学校生対象に、協会加盟園への採用情報をポスター類やホームページを用いて提供する。特に大谷大学との連携を深めながら事業に取り組む。

（4）協会をPRするパンフレット等の作成

当協会の活動を広くPRするため、パンフレット等の作成を行う。

（5）加盟園情報の収集、管理

会費納入手続き、入会手続きの機会を活用し正確な加盟園情報の収集、管理を行う。定期的な加盟園名簿の改訂を行う。

（6）常務理事会に関する事項

年に3回以上必要に応じて開催。

（7）役員会等に関する事項

① 理事会に関する事項

ア. 第31回（事業報告・決算承認）

期 日：2024年8月27日（火）／会場：真宗大谷派宗務所

イ. 第13回定時総会

期 日：2024年9月11日（水）／会場：真宗大谷派宗務所

ウ. 第32回（臨時理事会/正副理事長・常務理事改選）

期 日：2024年9月11日（水）／会場：真宗大谷派宗務所

エ. 第33回（次年度予算・事業計画）

期 日：2025年5月（予定）／会場：真宗大谷派宗務所

※いずれもWEB会議（ZOOM使用）にて開催する。

（8）諸会議に関する事項

① 正副部所長会 年1回以上必要に応じて開催

年間活動計画の策定と活動状況の報告を行う。

② 総務部会に関する事項 活動の状況に応じて随時開催

収支予算書(増減計算方式)

令和6年7月1日から令和7年6月30日まで

(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 特定資産運用益	39,000	39,000	0	
特定資産受取利息	39,000	39,000	0	大阪府債利息
② 受取会費	17,835,000	15,215,000	2,620,000	
正会員受取会費	8,560,000	6,265,000	2,295,000	
特別会員受取会費	8,675,000	8,350,000	325,000	
賛助会員受取会費	600,000	600,000	0	
③ 事業収益	14,000,000	13,550,000	450,000	
研修会講座収益	4,000,000	3,450,000	550,000	
教材等頒布収益	4,000,000	3,900,000	100,000	
心理士認定収益	6,000,000	6,200,000	△200,000	心理士年会費、認定料、フォローアップ事務手数料
④ 受取寄付金	2,000,000	6,145,490	△4,145,490	
受取寄付金振替額	2,000,000	6,145,490	△4,145,490	義援金使用分、映徳学園使用分
⑤ 雑収益	1,201,000	1,301,000	△100,000	
受取利息	1,000	1,000	0	預金利息
雑収益	1,200,000	1,300,000	△100,000	寄稿謝礼、アスクル還元金等
経常収益計	35,075,000	36,250,490	△1,175,490	
(2) 経常費用				
① 事業費				
事業経費	32,082,000	34,570,490	△2,488,490	
給料手当	4,428,000	3,900,000	528,000	正職員給与
福利厚生費	900,000	900,000	0	正職員福利費
会議費	352,000	400,000	△48,000	各部会、講師等の会議費
旅費交通費	2,800,000	2,750,000	50,000	交通費、宿泊費、出張日当
通信運搬費	3,500,000	3,500,000	0	発送料等、HPサーバー代
減価償却費	30,000	30,000	0	PC償却費
消耗品費	165,000	165,000	0	用品費等
印刷製本費	6,200,000	5,700,000	500,000	月刊誌真宗保育、機関紙ほいくしんり、カード、ブックレット、カリキュラム等
頒布品費	1,000,000	1,500,000	△500,000	頒布品、永年表彰記念品、保育心理士ワークブック等
賃借料	877,000	900,000	△23,000	会場使用料
諸謝金	5,400,000	3,700,000	1,700,000	研修会講師謝礼、こどもニュース謝礼等
租税公課	400,000	0	400,000	消費税、収入印紙代
支払寄付金	0	6,145,490	△6,145,490	災害見舞金
委託費	4,810,000	4,400,000	410,000	全国大会、大学講座、日仏保、支部・連区研修会共催費等
支払手数料	1,090,000	450,000	640,000	振込料、STORES.jp利用料、心理士オンデマンド配信利用料
雑費	130,000	130,000	0	渉外費等
事業費計	32,082,000	34,570,490	△2,488,490	

(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
②管理費				
給料手当	492,000	430,000	62,000	正職員給与
福利厚生費	100,000	100,000	0	正職員福利費、労務管理費
会議費	40,000	40,000	0	総会、理事会等の会議費
旅費交通費	1,742,000	450,000	1,292,000	総会・理事会等の交通費、宿泊費、出張日当
通信運搬費	630,000	630,000	0	電話代、郵便代
消耗品費	200,000	100,000	100,000	事務用品代
印刷製本費	370,000	380,000	△10,000	総会資料・封筒印刷代
租税公課	50,000	0	50,000	消費税、印紙代
委託費	924,000	1,060,000	△136,000	経理業務・労務業務委託費等
支払手数料	180,000	200,000	△20,000	振込料、経理ソフト
雑費	100,000	100,000	0	渉外費
管理費計	4,828,000	3,490,000	1,338,000	
経常費用計	36,910,000	38,060,490	△1,150,490	
評価損益等調整前当期経常増減額	△1,835,000	△1,810,000	△25,000	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△1,835,000	△1,810,000	△25,000	
2経常外増減の部				
(1)経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2)経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	△1,835,000	△1,810,000	△25,000	
当期一般正味財産増減額	△1,835,000	△1,810,000	△25,000	
一般正味財産期首残高	52,418,793	54,228,793	△1,810,000	
一般正味財産期末残高	50,583,793	52,418,793	△1,835,000	
II指定正味財産増減の部				
受取寄付金	0	6,145,490	△6,145,490	
一般正味財産への振替額	△2,000,000	△6,145,490	4,145,490	義援金使用分、映徳学園使用分
当期指定正味財産増減額	△2,000,000	0	△2,000,000	
指定正味財産期首残高	4,978,011	4,978,011	0	
指定正味財産期末残高	2,978,011	4,978,011	△2,000,000	
III正味財産期末残高	53,561,804	57,396,804	△3,835,000	

収支予算内訳書(増減計算方式)
令和6年7月1日から令和7年6月30日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業 会計	共益事業等 会計	法人会計	内部取引 消去	総合計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 特定資産運用益	0	0	39,000	0	39,000
特定資産受取利息			39,000		39,000
② 受取会費	15,189,750	82,000	2,563,250	0	17,835,000
正会員受取会費	7,276,000	82,000	1,202,000		8,560,000
特別会員受取会費	7,373,750		1,301,250		8,675,000
賛助会員受取会費	540,000		60,000		600,000
③ 事業収益	14,000,000	0	0	0	14,000,000
研修会講座収益	4,000,000				4,000,000
教材等頒布収益	4,000,000				4,000,000
心理士認定収益	6,000,000				6,000,000
④ 受取寄付金	2,000,000	0	0	0	2,000,000
受取寄付金振替額	2,000,000				2,000,000
⑤ 雑収益	360,000	0	841,000	0	1,201,000
受取利息			1,000		1,000
雑収益	360,000		840,000		1,200,000
経常収益計	31,549,750	82,000	3,443,250	0	35,075,000
(2) 経常費用					
① 事業費					
給料手当	4,428,000				4,428,000
福利厚生費	900,000				900,000
会議費	352,000				352,000
旅費交通費	2,800,000				2,800,000
通信運搬費	3,500,000				3,500,000
減価償却費	30,000				30,000
消耗品費	165,000				165,000
印刷製本費	6,180,000	20,000			6,200,000
頒布品費	1,000,000				1,000,000
賃借料	877,000				877,000
諸謝金	5,400,000				5,400,000
租税公課	400,000				400,000
支払寄付金	0				0
委託費	4,810,000				4,810,000
支払手数料	1,088,000	2,000			1,090,000
雑費	70,000	60,000			130,000
事業費計	32,000,000	82,000	0	0	32,082,000

(単位:円)

科 目	公益目的事業 会計	共益事業等 会計	法人会計	内部取引 消去	総合計
②管 理 費					
給 料 手 当			492,000		492,000
福 利 厚 生 費			100,000		100,000
会 議 費			40,000		40,000
旅 費 交 通 費			1,742,000		1,742,000
通 信 運 搬 費			630,000		630,000
消 耗 品 費			200,000		200,000
印 刷 製 本 費			370,000		370,000
租 税 公 課			50,000		50,000
委 託 費			924,000		924,000
支 払 手 数 料			180,000		180,000
雑 費			100,000		100,000
管 理 費 計	0	0	4,828,000	0	4,828,000
経 常 費 用 計	32,000,000	82,000	4,828,000	0	36,910,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△450,250	0	△1,384,750	0	△1,835,000
評価損益等 計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△450,250	0	△1,384,750	0	△1,835,000
2経常外増減の部					
(1)経常外 収 益					
経常外 収益計	0	0	0	0	0
(2)経常外 費 用					
経常外 費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△450,250	0	△1,384,750	0	△1,835,000
当期一般正味財産増減額	△450,250	0	△1,384,750	0	△1,835,000
一般正味財産期首残高					52,418,793
一般正味財産期末残高					50,583,793
II 指定正味財産増減の部					
一般正味財産への振替額	△2,000,000				△2,000,000
当期指定正味財産増減額	△2,000,000	0	0	0	△2,000,000
指定正味財産期首残高	4,928,011	50,000	0	0	4,978,011
指定正味財産期末残高	2,928,011	50,000	0	0	2,978,011
III 正味財産期末残高					53,561,804

【報告事項3】資金調達及び設備投資の見込みについて

資金調達及び設備投資の見込みについて

2024年 7月 1日から 2025年 6月 30日まで

(1) 資金調達の見込みについて

借入の予定		借入の予定はない	
事業番号	借入先	金額(円)	用途
—	—	—	—

(2) 設備投資の見込みについて

設備投資の予定		重要な設備投資の予定はない	
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額(円)	資金調達の方法又は 取得資金の用途
—	—	—	—

報告事項4 正会員の入会について

- (1) 園名：ききつルンビニー保育園
園長：長野 信楽
住所：長崎県諫早市多良見町化屋 1810
設置法人：社会福祉法人樹心会
所属支部：長崎支部
理事会承認日：2023年8月31日
- (2) 園名：あかね保育園
園長：可児 優
住所：岐阜県岐阜市茜部寺屋敷3丁目49番地
設置法人：社会福祉法人和光児童福祉会
所属支部：岐阜高山支部
理事会承認日：2024年5月15日

報告事項5 会員の異動状況

会員種別	会 員 数		増減
	2023(令和5年)年6月30日現在	2024(令和6年)年6月30日現在	
正会員数	430	429	-1
特別会員	1	1	0
賛助会員	27	26	-1
合計	458	456	-2

【正会員移動内訳】

入会:2カ園

退会:3カ園

【入会】

園名	
ききつるんびニーこども園(長崎)	2023年8月31日理事会承認
あかね保育園(岐阜高山)	2024年5月15日理事会承認

【退会】

園名	事由
大心寺二葉保育園(鹿児島支部)	運営上の都合により
豊原幼稚園(久留米支部)	園児減少に伴う運営上の都合により
ゆりかご保育園(能登支部)	園児減少に伴う運営上の都合により